

# スマイビスのご利用方法と効果の可能性の事例(施設介護・在宅介護)

介護者	介護側として現在お困りな主な項目
施設の介護職員	とにかく時間に追われる、常に目が離せず休まる余裕が無い、複数の入居者より同時に依頼され対応に困る(施設介護主)
在宅介護のご家族	なかなか依頼通りにしてもらえない 徘徊時は特に目を離せない 夜間の介助への負担が大変大きい 等々

ご本人 スマイビスのお世話という役割依頼(癒し)

介護側 介護負担軽減の可能性(介護サービス向上)

ご本人へのご利用方法(使い方)	介護側の介護負担軽減の可能性
スマイビスのスイッチを入れお渡しし、「スマイビス」と会話してもらう (そうなの? そうしたいの? 何がしたいの? わかったわかった よちよち) 「スマイビスに話しかけて可愛がってくれる?」	介護者が横目や遠距離からの監視が出来て、同時作業が可能 <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルかたづけ、テーブル拭き</li> <li>・洗物</li> <li>・入居者よりの同時依頼時(排泄、歩行援助、起き上がり等)にスマイビスをみてもらう</li> </ul> <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人当り短い場合・・・10分程の同時作業可(他事可)の場合有り</li> <li>1人当り長い場合・・・30分程の同時作業可(他事可)の場合有り</li> </ul>
スマイビスのスイッチを入れお渡しし、赤ちゃん言葉(喃語)と表情を通して自由に想像いただく (抱っこ、まんま～等以外の喃語で「何をしてもらいたいのか」想像してもらう) 「スマイビスが何をしたいか教えてくれる?」	介護者が赤ちゃん言葉(喃語)を換言し依頼する(コミュニケーション手段) <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴への誘導を促す</li> <li>・排泄への誘導を促す</li> <li>・食事への誘導を促す</li> <li>・薬服用への誘導を促す</li> </ul> } 周辺症状の「介護抵抗」への方策 <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人当り入浴への説得時間・・・5分程が低減</li> <li>1人当り排泄への説得時間・・・5分程が低減</li> <li>1人当り食事への説得時間・・・5分程が低減</li> <li>1人当り薬服用への説得時間・・・5分程が低減</li> </ul>
スマイビスのスイッチを入れ抱きかかえていただく (抱きかかえる事で特別な拠り所の存在へとしていただく)	ご利用者の「落ち着き」により徘徊が減少し、監視と個室誘導負担軽減 <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抱きかかえる安心感で徘徊減少</li> <li>・拠り所を得る事で落ち着きを得る</li> </ul> <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人当りの徘徊抑制、個室誘導時間・・・各10分程が低減</li> </ul>
スマイビスのスイッチを入れお渡しし、日中にお世話を依頼する (日中での空いた時間に、お世話する「相手」として、日課として定着)	介護者側の夜間の覚醒に伴う失禁管理、再度、寝る為の誘導を低減 <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間の睡眠時間が減少する事で夜間の覚醒減少</li> <li>・昼夜逆転現象の抑制</li> </ul> <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人当りの失禁管理、徘徊抑制、個室誘導時間・・・各10分程が低減</li> </ul>

\*上記内容は、スマイビスをご利用いただいている住宅型有料老人ホーム内のデイ・サービスを通じた事例です

\*個人のご性格や環境及び状況により効果が見込まれる場合と、そうでない場合がございます事をご了承願います